

令和元年度地方創生推進交付金事業の検証について

地方創生推進交付金

担当課	事業名	事業内容	成果	実績額 (R2.3.31)	重要業績評価指標(KPI) (H30.3.31目標値)	達成状況 (R2.3.31)	達成率 (R2.3.31)	外部有識者からの評価	実績値を踏まえた 事業の今後の方針	
政策課	休校利活用事業	休校となっている波松、吉崎、新郷小学校について、各小学校近隣の地域が抱える課題解決や活性化に資する施設としての利活用を検討するとともに、市全体の活性化に資する施設として、休校利活用計画を策定し、それに基づき各種事業を展開する。	地域住民主体によるまちづくり団体として、波松地区には「一般社団法人なみまち倶楽部」が、吉崎地区には「一般社団法人蓮如の里吉崎」が設立された。 主な活動内容は、(一社)なみまち倶楽部では、休校舎で「なみまちCAFE」をオープンさせたほか「農泊」にも取り組み、地域資源の掘り起こしを行っている。また、(一社)蓮如の里吉崎では、まち歩きイベント「蓮如さんと吉崎めぐり」を3回開催し、吉崎地区の再興を図っている。 なお、新郷小学校については、地区区長会と地域の若者が中心となり、任意団体「新郷小学校を考える会」が発足。地域の拠点を目指し、活動がスタートした。	6,982,700円	観光入込客数(市全体)	2,200,000人	1,703,490人	77.4%	総合戦略のKPI達成に有効であった。	それぞれの地域で設立されたまちづくり団体「一般社団法人なみまち倶楽部」「一般社団法人蓮如の里吉崎」「新郷小学校を考える会」が主体となり、休校を活用して行うまちづくり活動を支援することで、観光入込客数を増加させるとともに、地域活性化を推進する。 【波松地区：一般社団法人なみまち倶楽部】 ・ 農泊事業を中心とした観光まちづくり事業を実施する ・ 波松小学校を活用し、地域の活性化を図る ・ 自立した法人運営を目指す 【吉崎地区：一般社団法人蓮如の里吉崎】 ・ 地域住民と関係者の協力体制を構築し、観光まちづくり事業を実施する ・ 吉崎小学校の利活用の方向性を協議する ・ 自立した法人運営を目指す 【新郷地区：新郷小学校を考える会】 ・ 「新郷小学校利活用計画」を策定する ・ 地域住民が気軽に集まり、使いやすい「つどいの場」づくりを実施する ・ 地域外からも人が集まる「にぎわい・つながりの場」づくりを実施する ・ 利活用事業の中核を担う団体の基盤づくりを実施する
観光振興課	「ちはやふる」を活用した知名度向上事業	・ まちあるきガイドブック作成 ・ ちはやふる原画展の開催 ・ オリジナルグッズ開発 ・ 全国競技かるた女流選手権大会の開催及びニコニコ動画とタイアップした動画配信での観光PR ・ あわら市民かるた大会及びかるた教室開催(繰越事業分) ・ オリジナルミニアニメ制作 ・ 声優撮り下ろし音声を活用したまち歩き企画(補正追加分) ・ 世界大会開催に向けたポスター・チラシ作成	・ ちはやふる原画展来場者 10,657人 ・ 声優トークイベント 約1,000人 ・ 原画展グッズ売上 6,511千円 ・ まちあるきキャンペーン応募者 延571名 ・ ミニアニメ視聴回数 2,577回(2月末現在)	15,065,000円	あわら市オリジナルちはやふる関連グッズおよび宿泊プランなどの総売上	10,000千円	14,477千円	144.8%	総合戦略のKPI達成に有効であった。	・ あわら市民かるた大会及びかるた教室の開催と競技かるたの普及促進を図る ・ 全国競技かるた女流選手権大会の継続開催を実施する ・ 2020インターナショナル小倉百人一首かるたフェスティバル開催(あわら世界大会及び海外選手のFAMツアーの開催による知名度向上)する。 ・ 通年型まちあるきパンフレットの継続実施を行う。
観光振興課	越前加賀インバウンド受け入れ体制等整備事業 【連携自治体】 勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町、石川県加賀市	・ ICTツールの導入により、受入施設における多言語での案内機能を強化するほか、エリアを訪れた外国人観光客の情報データを収集・分析し、マーケティングに活用するためのシステムを整備する。また、外国人観光客に対応できる観光ガイドやコンシェルジュ育成研修会の開催など、受け入れ環境の整備を行う。 ・ 欧米豪、タイのメディアや旅行会社のファムツアーを開催するほか、香港、タイ・マレーシア現地においてセールスコールを行うことにより、現地でのエリア認知度向上を図る。 ・ 越前加賀インバウンド推進機構のDMO設立に向けて、関係事業者で勉強会及び検討会を開催する。	(あわら市のみ) ・ 外国人宿泊客数 15,668人(対前年比103%) 【うちターゲット国】 ・ 台湾 5,895人(対前年比83%) ・ 香港 6,258人(対前年比121%) ・ タイ 350人(対前年比50%)	9,547,000円	外国人観光宿泊客数(市全体)	30,000人	15,668人	52.2%	総合戦略のKPI達成に有効であった。	・ デジタル情報スタンド・広域観光アプリの整備、データ分析システムの運営する。 ・ 観光ガイド及びコンシェルジュ育成研修会の開催する。 ・ 広域連携商品販売の促進する。 ・ 海外セールスコール開催する。 ・ 海外のプロガーやインフルエンサー等の招聘する。 ・ 第2次中期計画を策定する。
合計				31,594,700						

地方創生拠点整備交付金

担当課	事業名	事業内容	成果	実績額 (H30.3.31)	重要業績評価指標(KPI)		H31(R1) 実績	H31(R1) 達成率	外部有識者からの評 価	実績値を踏まえた 事業の今後の方針
スポーツ課	地域資源を 活用した魅力 発信事業	・北潟湖で競技者や愛好者を中心に 行われているカヌーについて、観光 客などの未経験者でも気軽に体験で きる環境を整備することにより、地域 資源である北潟湖などの豊かな自然 をあわら市の魅力として発信するとと もに、レジャーや競技としてのカヌー の普及推進を図る。	カヌー関連普及事業や教室・大会を 継続的に行い、艇庫についても認知 度が高まった。各種事業の際には休 憩等を利用した交流が生まれるな ど、北潟湖を競技の拠点として利用 しやすくなった。また、一体的に整備 したシャワーなどの利便性向上によ り、イベント等の付加価値が高まっ た。また、北潟湖再生協議会におけ る北潟湖活用調査の際の休憩室 の利用など、カヌー関連以外の事業 での活用実績があった。	48,934,800円	観光入込客数 (市全体)	2,200,000人	1,703,490人	77.4%	総合戦略のKPI 達成に有効で あった。	・新たな利用者を獲得するために、カヌー関連のイベントを通じて、艇庫の利便性の良 さを参加者に周知する。 ・カヌーイベントのみならず、地域交流や北潟湖関連のイベントの場としての活用を推 進する。
					観光入込客数 (北潟湖畔)	180,000人	76,900人	42.7%		
					施設使用料(収 入)	1,500千円	417千円	27.8%		
合 計				48,934,800円						